

やまぼうし

社会福祉法人 市島福社会
認定こども園 いちじまこども園

〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(固) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>

令和元年8月



こども園HP



<教育・保育理念>
受容・信頼・貢献感

いきよう
ちからいっぽい
じぶんらしく
まっすぐに

変わりゆく常識

赤ちゃんのミルク

今と昔で大きく変わったものの一つに食生活が挙げられます。今の子ども達が大きくなる頃には想像もつかない食べ物、飲み物が出てくるかもしれません。

液体ミルクが登場

赤ちゃんのミルクといえば母乳か粉ミルクが代表でしたが、「液体ミルク」が登場しました。正式名称は『乳児用液体ミルク』です。

熊本地震の際、被災地にフィンランドからの支援として「液体ミルク」が届き話題になりました。当時は日本での液体ミルクの認知度は低く、認可もされていませんでした。しかし、食品衛生法の見直しがされ、あれから約3年が経ち、国内メーカーの乳児用液体ミルクの販売が始まりました。

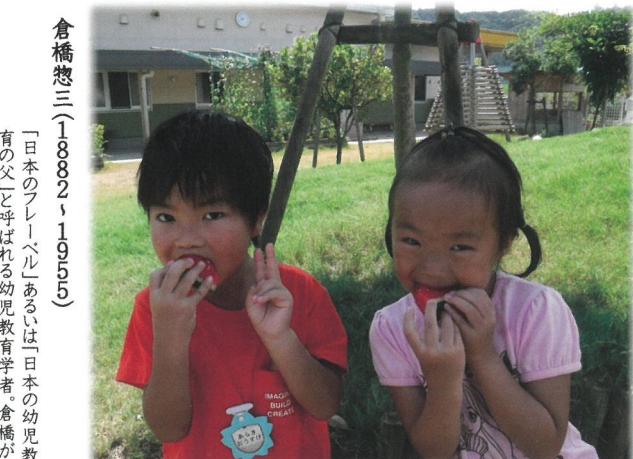
液体ミルクとは？

乳児用に栄養分を調整された液状のミルクの事で、哺乳瓶に移しかえるだけで準備は完了。

100～200ミリリットル入りといった、飲み切れる容量のものが多く、開封しなければ紙パックで約6ヵ月、缶で約1年常温保存が可能です。授乳までの時間がかかるないこと、誰にでも簡単にミルクの準備ができ、手間もかかるのが嬉しいですね。粉ミルクよりは少しお値段は高くなれるようですが、用途によって使い分けるとよいかかもしれません。

今年の3月に江崎グリコから「アイクレオ赤ちゃんミルク」が、明治乳業から「明治ほほえみらくらくミルク」が販売を開始しました。最近はスーパーやドラッグストアでの取り扱いが増えつつあり、コンビニエンスストアでの取り扱いを始める動きもあります。

時代とともに、本当に様々な事が変わりつつあります。特に子どもに関する事には敏感でいたいと思っています。



涼しさだ。

悟道の極ではないが、何という心の

涼しさだ。
忘れた我、事に即して今に生きる真剣。熱風裡に居て熱を知らず、汗にぬれて汗を知らぬ幼児の顔。

涼しさだろう。

ろう。此の日中を駆け歩き飛び回り、遊びづけていながら、何という

涼しい顔、何という涼しさだ

涼しい顔

倉橋惣三の言葉



倉橋惣三(1882-1955)

「日本のフレーベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。